

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 平成21年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者0人、重傷者3人、軽傷者11人

(2) 住家被害

全壊0棟、半壊1棟、一部破損6棟、床上浸水1棟、床下浸水27棟

第1表 平成21年中の災害発生状況

発生年月日 区分			災害名				計	
			大雨 6月22日	大雨 8月2日	台風18号 10月7日～8日	大雪 12月17日～31日		
人的被害	死者		人				0	
	行方不明者		人				0	
	負傷者	重傷	人			3	3	
		軽傷	人		2	9	11	
住家被害	全壊		棟				0	
			世帯				0	
			人				0	
	半壊		棟			1	1	
			世帯			1	1	
			人			2	2	
	一部破損		棟		2	4	6	
			世帯		2	4	6	
			人		2	6	8	
	床上浸水		棟			1	1	
			世帯			1	1	
			人			4	4	
	床下浸水		棟	5	20	1	1	27
			世帯	5	18	1	1	25
			人	11		2	5	18
非住家		公共建物	棟				0	
		その他	棟		1	3	4	
その他	田	流失・埋没	ha				0	
		冠水	ha				0	
	畑	流失・埋没	ha				0	
		冠水	ha				0	
	学	校	箇所				0	
	病	院	箇所				0	
	道	路	箇所				0	
	橋	りょう	箇所				0	

発生年月日			災害名				計
区分			大雨 6月22日	大雨 8月2日	台風18号 10月7日～8日	大雪 12月17日～31日	
その他	河川	箇所					0
	港湾	箇所					0
	砂防	箇所					0
	清掃施設	箇所					0
	崖くずれ	箇所					0
	鉄道不通	箇所					0
	被害船舶	隻					0
	水道	戸					0
	電話	回線					0
	電気	戸					0
火災発生	ガス	戸					0
	建物	件					0
	危険物	件					0
	その他の	件					0
	り災世帯数	世帯				2	2
	り災者数	人				6	6
	公立文教施設	千円					0
	農林水産業施設	千円					0
	公共土木施設	千円	596				596
	その他の公共施設	千円					0
	小計	千円	596				596
	公共施設被害市町村数	団体	1				1
その他	農産被害	千円			16,276		16,276
	林産被害	千円					0
	畜産被害	千円					0
	水産被害	千円					0
	商工被害	千円					0
	その他の	千円			50		50
	被害総額	千円	596	0	16,326	0	16,922
都道府県 災害対策本部	設置		なし				/
	解散		なし				
災害対策本部設置市町村			なし				/
災害救助法適用市町村			なし				
消防職員出動延人数		人	4		3		7
消防団員出動延人数		人	0		0		0

2 過去5年間の災害発生状況

年月日	種類	被害状況	気象状況
2005 (平17) 1. 11	大雪	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 一部破損 1棟 床下浸水 1棟1世帯1人 (3) 非住家被害なし	8日から冬型の気圧配置が続いた。 9日から11日にかけて、北陸の上空に氷点下30℃以下の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。 このため、9日から各地でまとまった降雪を観測した。大野市九頭竜では、11日に50センチの降雪があり、最深積雪は118センチとなった。
2005 (平17) 1. 28～ 2. 4	大雪	(1) 人的被害 軽傷 3人 (2) 住家被害 一部破損 1棟 (3) 非住家被害なし	1月29日、発達中の低気圧が日本海北部を東進後、冬型の気圧配置となり、2月1日は強い冬型の気圧配置で嶺北中心に大雪となった。 その後も冬型の気圧配置が続き、4日まで断続的な降雪となった。
2005 (平17) 2. 1	大雪	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 一部破損 1棟1世帯 床下浸水 3棟3世帯11人 (3) 非住家被害なし	1日は北陸の上空に氷点下40℃以下の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まり嶺北中心に大雪となった。 1日の降雪(最深積雪)は、大野市九頭竜で59センチ(175センチ)、福井で34センチ(45センチ)、大野で45センチ(95センチ)を観測した。
2005 (平17) 4. 20	強風	(1) 人的被害 軽傷 1人 (2) 住家被害なし (3) 非住家被害なし	20日09時には沿海州に中心を持つ発達した低気圧が北東進しており、中心から延びる寒冷前線が九州北部に達していた。また、別の低気圧が日向灘にあり、前線を伴って北東進していた。一方、日本の東海上には高気圧があって日本付近は気圧傾度が大きくなっていた。 このため県内では、19日夜から20日夕方にかけて南東から南の風が強く吹いた。 福井で6時17分に25.9m/s(南)、敦賀で7時01分に32.3m/s(南南東)の最大瞬間風速を観測した。
2005 (平17) 5. 8	崩土被害	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 非住家被害なし (4) 被害箇所 崖くずれ1箇所 (5) 公共施設被害額 2,905千円	7日に低気圧が日本海北部と関東の東海上を北東に進んだ。 このため、県内では6日から断続的な降水があり、6日昼前から7日朝のうちにかけての降水量は、越廼で74ミリ、坂井市三国で70ミリを観測する大雨となった。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2005 (平17) 6. 29	大雨	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 非住家被害なし (4) 被害箇所 田 流出0.07ha 道路 4箇所 (5) 公共施設被害額 12,600千円	梅雨前線は、28日朝には大陸から朝鮮半島を経て新潟県にかかっていたが、夜から福井県に南下し、活動が活発となり、29日にかけて停滞した。 このため28日夕方から29日明け方にかけて嶺北地方で、また29日明け方から昼頃にかけては嶺南地方でまとまった降水となった。その後も30日昼過ぎまで断続的な降水があった。 2日間(28日～29日)の降水量は、坂井市三国で136ミリ、勝山で123ミリ、大野市九頭竜で129ミリ、福井で84ミリ、敦賀で62ミリ、美浜で100ミリを観測した。
2005 (平17) 7. 4	大雨	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 床下浸水 9棟 (3) 非住家被害なし (4) 被害箇所 田 流出0.76ha 道路 14箇所 崖崩れ 1箇所 (5) 公共施設被害額 73,300千円	3日21時には梅雨前線が西日本に停滞し、前線上の低気圧が朝鮮半島付近を東進していた。4日09時には低気圧が能登沖まで進み、梅雨前線も活発化しながら徐々に北上した。 このため、嶺北を中心に大雨となった。4日の降水量は、大野市九頭竜で177ミリ、勝山で171ミリ、大野で156ミリ、福井で115ミリを観測した。
2005 (平17) 8. 2	大雨	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 床下浸水 1棟1世帯1人 (3) 非住家被害なし	朝鮮半島から北海道にかけての日本海に前線が停滞していた。 一方、フィリピンの東海上には台風第9号があり、福井県内には南から暖かく湿った空気が流れこみ、大気の状態が不安定となった。 このため、日最大1時間降水量が小浜で28ミリ(17時30分)、福井市美山で26ミリ(20時10分)を観測する大雨となった。
2005 (平17) 8. 13	大雨	(1) 人的被害なし (2) 住家被害 床上浸水 4棟4世帯 床下浸水 30棟30世帯 (3) 非住家被害 公共建物 2棟 (4) 被害箇所 道路 20箇所 河川 5箇所 崖崩れ 1箇所 (5) 公共施設被害額 8,000千円 (6) その他 300千円 (7) 災害対策本部設置市町村 高浜町	福井県付近に停滞している前線の活動が活発となり、嶺南地方を中心に大雨となった。 日最大1時間降水量が美浜で63ミリ(06時30分)、大飯で61ミリ(09時40分)の非常に激しい雨が降り、美浜では13日1日の降水量が184ミリとなった。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2005 (平17) 9. 6~ 9. 7	台風14号	(1) 人的被害 死者1名 (2) 住家被害 一部破損 3棟1世帯8人 (3) 非住家被害 公共建物 2棟 その他 2棟 (4) 被害箇所 学校 10箇所 停電 30戸 (5) 公共施設被害額 1,167千円 (6) 農産被害 22,492千円 (7) 商工被害 1,400千円 (8) その他 285千円	大型で強い台風第14号は、6日12時に鹿児島市付近を通過後、14時頃に長崎県諫早市付近に上陸し、その後再び海上に抜け、19時には進路を北北東に変えて日本海を進み、7日昼前には福井県に最接近した。福井県内では台風の北上に伴い、6日夜遅くから急に南よりの風が強まり、敦賀で23時22分に最大瞬間風速35.6m/s(南東)を、また福井で7日09時14分に最大瞬間風速30.3m/s(南)を観測した。
2005 (平17) 12. 23	強風	(1) 人的被害なし (2) 物的被害なし (3) 非住家被害 その他 2棟	21日の夜に能登沖で発生した低気圧が22日には三陸沖で急激に発達して強い冬型の気圧配置となった。敦賀では09時36分に27.3m/s(北西)、福井で10時12分に23.1m/s(北北西)の日最大瞬間風速を観測した。23日も引き続き冬型の気圧配置となり、福井で11時46分に18.3m/s(西)の日最大瞬間風速を観測した。
2005 (平17) 12. 13 ~ 2006 (平18) 3. 31	平成18年豪雪	(1) 人的被害 死者 14名 重傷 36人 軽傷 126人 (2) 住家被害 全壊1棟1世帯1人 半壊4棟3世帯4人 一部破損 390棟104世帯219人 (3) 非住家被害 公共建物 6棟 その他 103棟 (4) 公共施設被害 482,710千円 (5) 農産被害 32,973千円 (6) 林産被害 506,145千円 (7) 畜産被害 2,400千円 (8) その他 69,111千円 (9) 被害総額 1,093,339千円 (10) 災害対策本部設置市町 永平寺町、池田町	12月中旬から続いた断続的な強い寒気の流れ込みにより、強い冬型の気圧配置が1月中旬まで続いた。 【12月】 12日~14日、強い寒気(氷点下36℃以下)が福井県上空に流れ込んで強い冬型の気圧配置が持続したため、嶺北全域と嶺南東部を中心に大雪 17日~18日、非常に強い寒気(氷点下40℃以下)が福井県上空に流れ込み、冬型の気圧配置が強まり、山沿い・山間部を中心に大雪 22日、強い寒気(氷点下38℃以下)が福井県上空に流れ込み、冬型の気圧配置が強まり、山沿い・山間部や嶺南を中心に24日朝にかけて大雪 【1月】 3日~8日、強い寒気(氷点下36℃以下)が福井県上空に流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。 7日は福井で20cmの日降雪量を観測 22日~23日、強い寒気(氷点下38℃以下)が福井の上空に流れ込み、一時冬型の気圧配置が強まった。 各地の最深積雪は、敦賀73センチ(12月23日)、大野市九頭竜241センチ(12月27日)、福井95センチ(1月8日)、大野162センチ(1月10日)、南越前町今庄174センチ(1月8日)、越前市武生92センチ(1月8日)、小浜43センチ(1月8日)。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2006 (平 18) 7. 18～ 7. 19	平成 18 年 7 月豪雨	(1) 人的被害 死者 2 名 (2) 住家被害 全壊 3 棟 3 世帯 11 人 半壊 1 棟 1 世帯 6 人 一部破損 5 棟 5 世帯 16 人 床上浸水 3 棟 3 世帯 7 人 床下浸水 196 棟 196 世帯 334 人 (3) 非住家被害 その他 1 棟 (4) 被害箇所 道路 186 箇所 河川 147 箇所 崖くずれ 49 箇所 電話 8 回線 電気 900 戸 ガス 980 戸 (5) り災 り災世帯 7 世帯 り災者 24 人 (6) 公共施設被害 3,371,991 千円 (7) 農産被害 10,502 千円 (8) 林産被害 560,800 千円 (9) その他 25,800 千円 (10) 被害総額 3,969,093 千円 (11) 災害対策本部設置市町村 福井市、鯖江市、あわら市、 越前市、坂井市、永平寺町、 越前町	15 日から 24 日にかけて梅雨前線が北陸付近に停滞し活動が活発化したため、大雨となった。特に 15 日夜から 19 日明け方にかけて断続的に降り続き、5 日間の総降水量は勝山で 477 ミリに達したほか、嶺北各地で 400 ミリを超えた。
2006 (平 18) 8. 21	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水 1 棟	21 日は南から湿った空気が入り大気の状態が不安定となり、福井では 2 日間で 30 ミリの雨となったが、敦賀では小雨程度だった。
2006 (平 18) 9. 6～ 9. 7	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 公共施設被害額 10,370 千円	前線の活動が活発となった 6 日は、福井で月最大 24 時間降水量、美山および勝山で日降水量の 9 月の記録を更新する大雨となった。 6 日 08 時の降り始めから 8 日 03 時の降り終わりまでの総雨量は多いところで 200 ミリを超えた。(福井市美山 235 ミリ、坂井市春江 176 ミリ、越前市武生 182 ミリ、福井 165 ミリ、勝山 152 ミリ)
2007 (平 19) 2. 15	高波	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 1 棟 (3) り災 り災世帯 1 世帯 り災者 2 人	15 日 09 時、北海道西方海上に発達した低気圧があり東進した。一方東シナ海に中心を持つ高気圧が日本付近に張り出していた。 このため日本付近は強い冬型の気圧配置となっていた。沿岸では、大しけとなった。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2007 (平19) 5.10	暴風	(1) 人的被害 軽傷 2人 (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 公共建物 3棟 その他 4棟 (4) 公立文教施設被害 12,190千円 (5) その他公共施設被害 1,095千円 (6) その他の被害 716千円 (7) 被害総額 14,001千円	前線を伴った低気圧が、若狭湾から県内を通過し東進した。このため嶺南地方では低気圧通過直後一時的に北よりの暴風となった。 (日最大瞬間風速) 福井 23.3m/s(北北西) 16時11分 敦賀 31.4m/s(北) 16時15分
2007 (平19) 6.22	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 6,149千円	22日09時、東北南部から北陸地方を 通って東シナ海にのびる梅雨前線は、 日中南下し、県内を通過したため、短 時間に強い降水となった。 (日最大1時間降水量) 福井20.0ミリ、敦賀8.5ミリ、 大野市九頭竜20ミリ、勝山18ミリ (日降水量) 福井86.5ミリ、敦賀44.0ミリ、 大野市九頭竜97ミリ、勝山90ミリ
2007 (平19) 6.29～ 6.30	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 11,710千円 (4) 公共土木施設被害 3,000千円 (5) 被害総額 14,710千円	29日09時、能登沖に前線を伴った低 気圧があり、15時には秋田付近、21時 には三陸沖に進んだ。これに伴い低気 圧からのびる寒冷前線が県内を通過 したため、29日に嶺北地方を中心に短 時間に激しい降水となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 福井28.0ミリ、敦賀20.0ミリ、大野25ミリ、 勝山で25ミリ、池田町板垣で30ミリ、大 野市九頭竜で33ミリ (日降水量(29日)) 福井71.5ミリ、敦賀35.5ミリ、大野81ミリ、 勝山100ミリ、池田町板垣78ミリ、大野 市九頭竜99ミリ
2007 (平19) 7.14～ 7.15	台風4号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) その他の被害 98千円	14日には台風第4号が大隅半島に上 陸し、その後本州の南岸を東進した。 15日は南から暖かく湿った空気が入 り、梅雨前線の活動が活発となった。 14日～15日にかけての降水量は、大 野市九頭竜で123ミリを観測した他、県 内各地で50ミリ前後となった。
2008 (平20) 6.28	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 2,500千円	28日21時には前線を伴った低気圧 が対馬海峡にあって東に進み、29日 には前線が西日本から東海地方に停滞 した。 このため、県内では強い雨が降り、 奥越では降り始めからの総降水量が 100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 大野23.0ミリ、越廼22.5ミリ、武生20.0ミリ (日降水量(29日)) 九頭竜118.5ミリ、大野89.0ミリ、 今庄86.0ミリ、勝山84.5ミリ

年月日	種類	被害状況	気象状況
2008 (平20) 7. 8	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水2棟 (3) り災世帯 2世帯 (4) 農林水産業施設被害 1,000千円	上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、午前中を中心に短時間に激しい雨となった。 (最大1時間降水量(8日)) 美浜47.0ミリ、福井44.0ミリ、美山40.5ミリ
2008 (平20) 7. 27	突風	人的被害 死者 1人 重傷 1人 軽傷 10人	日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、積乱雲が発達し、積乱雲通過時に突風が発生した。 突風をもたらした現象はガストフロント、強さは藤田スケールでF0と推定される。 (日最大風速(27日)) 敦賀 16.2m/s(西北西) 12時56分 (日最大瞬間風速(27日)) 敦賀 29.7m/s(西北西) 12時49分
2008 (平20) 7. 28	大雨・落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水1棟 (3) 公共施設被害 133千円	山陰沖から能登半島にかけて前線が停滞しており、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、嶺北地方を中心に雷を伴い短時間に非常に激しい雨となった。 (日最大1時間降水量(28日)) 越廼67.5ミリ、武生51.5ミリ、今庄36.5ミリ (日降水量(28日)) 越廼89.5ミリ、武生74.5ミリ、今庄63.5ミリ
2008 (平20) 8. 9	落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 3,413千円	大気の状態が不安定となり、嶺北地方で雨雲が発達した。福井市では夜、雷を観測した。 (日最大1時間降水量(9日)) 武生5.0ミリ
2008 (平20) 8. 28	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水1棟 (3) り災世帯 1世帯 (4) 農林水産業施設被害 2,000千円	福井県付近に前線が停滞し、南から暖かく湿った空気が流れ込み、前線活動が活発となった。 このため、嶺北地方では非常に激しい雨が降り、総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(28日)) 大野64.5ミリ、勝山58.5ミリ、板垣56.5ミリ (日降水量(28日)) 板垣113.5ミリ、勝山97.5ミリ、大野89.0ミリ

年月日	種類	被害状況	気象状況
2008 (平20) 9.3	大雨・落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水1棟 (3) 農林水産業施設被害 2,822千円 (4) 公共施設被害 794千円	2日21時には日本海と四国沖に低気圧があつて共に北東に進む。 その後3日9時頃には寒冷前線が福井県を通過した。 このため、3日未明から朝にかけて大気の状態が不安定となり、嶺南地方では雷を伴い非常に激しい雨となった。 また、県内では降り始めからの総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(3日)) 美浜52.0ミリ、春江40.5ミリ、武生39.0ミリ (日降水量(3日)) 美浜147.5ミリ、武生123.5ミリ、春江104.0ミリ
2008 (平20) 12.18	落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 21千円	18日は冬型の気圧配置となり上空には寒気が入ったため大気の状態が不安定となった。 福井市では18日朝から昼過ぎにかけて雷を観測した。 (日最大1時間降水量(18日)) 美浜9.5ミリ、武生6.5ミリ
2009 (平21) 6.22	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水5棟 (3) 公共土木施設被害 596千円	22日には活発な梅雨前線の影響で嶺北を中心に激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(22日)) 春江43.5ミリ、三国28.0ミリ、越廼26.5ミリ (日降水量(22日)) 春江122.0ミリ、三国117.5ミリ、越廼114.5ミリ
2009 (平21) 8.2	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水20棟	上空の寒気や湿った空気が流れ込んだ影響により、大気の状態が不安定となり、2日未明からまとまった雨となった。 (日最大1時間降水量(2日)) 福井56.5ミリ、大飯30.5ミリ (日降水量(2日)) 福井94.0ミリ、大飯63.5ミリ
2009 (平21) 10.7～ 10.8	台風18号	(1) 人的被害 軽傷 2人 (2) 住家被害 一部損壊2棟 床下浸水1棟 (3) 非住家被害 その他1棟 (4) 農産被害 16,276千円 (5) その他被害 50千円 (6) 被害総額 16,326千円	7日には台風第18号が四国の南海上に進み、8日5時過ぎには知多半島付近に上陸し、その後、東海地方、関東甲信地方、東北地方を進み、同日夕方に太平洋に達した。 7日～8日にかけての降水量は、おおい町名田庄納田で230ミリ、小浜市遠敷で126ミリを観測した。
2009 (平21) 12.17～ 12.31	大雪	(1) 人的被害 重傷 3人 軽傷 11人 (2) 住家被害 半壊1棟 一部損壊4棟 床上浸水1棟 床下浸水1棟 (3) 非住家被害 その他3棟 (4) り災世帯 2世帯	中旬後半から下旬にかけて強い寒気が日本付近に南下し冬型の気圧配置となった。このため、奥越を中心に大雪となった。 17日～20日にかけての降雪量の合計は嶺北の平野部では30～60センチ、大野市九頭竜では164センチとなった。最深積雪は20日に大野市九頭竜で143センチを観測した。

第2章 平成21年の天候経過

1 天候の特徴

【気温が高く、早い梅雨入りで、梅雨明けは特定できず】

◇ 年(1月～12月)の概況

冬から春にかけて、気温は高く経過し、年平均気温も高くなりました。降水量は、平年より少ない月が多くありましたが、福井の年降水量は、平年並となりました。日照時間は、5月、7月、8月、12月が少なくなりました。特に、7月は統計開始以降で月間日照時間の少ない方から第2位の記録となりました。福井の年間日照時間は、平年並となりました。

< 気温は高く、日照時間も多く、降雪量は少なくなりました >

◇ 冬(2008年12月～2009年2月)の概況

12月上旬から中旬にかけては、天気は周期的に変化し、晴れた日が多くなりました。12月下旬から1月中旬は、冬型の気圧配置となった日が多くなり、一時的に冬型の気圧配置が強まった日もありました。1月下旬は、低気圧の影響で雨の日が多くなりました。2月は短い周期で低気圧が日本付近を通過し、周期的に変化しました。また、一時的に強い寒気が南下したため、山地を中心に雪が降った日もありましたが、寒気の移流は弱く冬型の気圧配置は長く続きませんでした。

冬の平均気温は、福井で平年より高く、敦賀で平年よりかなり高くなりました。

降水量は、福井・敦賀共に平年より少なくなりました。

日照時間は、福井・敦賀共に平年よりかなり多くなりました。

降雪量は、福井・敦賀共に平年よりかなり少なくなりました。

< 気温が高く、降水量は少なくなりました >

◇ 春(3～5月)の概況

3月・4月上旬と中旬は、共に寒気の影響は少なくなりましたが、下旬は大陸から強い寒気が南下したため、気温の寒暖の差が大きくなりました。3月下旬は、嶺北の平地でも積雪となったところがありました。

春の平均気温は、福井・敦賀共に平年より高くなりました。

降水量は、福井で平年並でした。

日照時間は、福井・敦賀共に平年並でした。

< 早い梅雨入り、梅雨明け特定できず >

◇ 夏(6～8月)の概況

6月は、梅雨前線の活動が不活発であったため、晴れて気温の高い日が多くなりました。7月

は、梅雨前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。8月は、太平洋高気圧の勢力が弱かったため、気温が平年より低い日が多くなりました。また、7月下旬から8月上旬にかけては、南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となり、局地的な大雨が降りました。

夏の平均気温は、福井・敦賀共に平年並でした。

降水量は、福井で平年並でした。

日照時間は、福井・敦賀共に平年より少なくなりました。

< 期間のはじめは降水量が少なく、日照時間は多くなりました >

◇ 秋 (9~11月) の概況

9月は移動性高気圧に覆われて、晴れた日が多くなりましたが、上旬には一時的に大気の状態が不安定となり、奥越の大野市を中心に局地的な大雨となりました。10月上旬は、気圧の谷や台風第18号の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。11月は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなり、気温も寒暖の差が大きくなりました。

秋の平均気温は、福井で平年並、敦賀で平年より高くなりました。

降水量は、福井で平年より少なく、敦賀で平年よりかなり少なくなりました。

日照時間は、福井・敦賀共に平年よりかなり多くなりました。

< 中旬から下旬及び下旬の後半に大雪となりました >

◇ 12月の概況

12月は、上旬のはじめと終わりは、高気圧に覆われて晴れましたが、中旬の後半から下旬のはじめと下旬の終わりに冬型の気圧配置となり、奥越を中心にまとまった雪が降りました。

12月の平均気温は、福井・敦賀共に平年並でした。

降水量は、福井で平年より多く、敦賀で平年より少なくなりました。

日照時間は、福井・敦賀共に平年より少なくなりました。

◇ 2009年の福井県の気温、降水量、日照時間

観測項目	福 井			敦 賀		
	平均気温 (℃)	降水量 (ミリ)	日照時間 (時間)	平均気温 (℃)	降水量 (ミリ)	日照時間 (時間)
本 年	14.7	2067.0	1600.0	15.6	1607.0] *	1492.5
平年値	14.3	2257.9	1610.2	15.0	2230.7	1583.5
平年差比	+0.4	92%	99%	+0.6	///	94%
階級区分	高い	平年並	平年並	高い	///	少ない
前 年	14.7	1964.5	1703.8	15.7	1662.5	1621.1

※「 』」括弧は、資料不足（統計値を求める対象となる資料が足りない）であることを示す。
 注「///」は、資料不足により統計処理不可を示す。

◇ 台風

台風の発生数は、22個（平年値26.7個）、北陸への接近数は2個（平年値2.2個）、上陸数は1個（平年値2.6個）となりました。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値			
台風 (番号)					1	3	5	7	12	19	22		22	26.7			
					2	4	6	8	13	20							
								9	14	21							
								10	15								
								11	16								
									17								
									18								
	上陸数									1						1	2.6
	北陸接近数							1	1							2	2.2

* 台風が上陸したかどうかにかかわらず、台風の中心が北陸地方のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を北陸地方への接近としています。

(参考) 過去の台風経路図等の情報は、気象庁及び福井地方気象台ホームページからアクセスできます。

(気象庁過去の台風資料) URL : <http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/typhoon/index.html>

2 月別気象概況

1月 寒暖の変動が大きくなりました。前半は寒気が南下して、冬型の気圧配置となった日が多くなりましたが、後半は、本州付近を高気圧や低気圧が数日の周期で通過し、冬型の気圧配置は継続せず、気温の高い日が多くなりました。

月平均気温は、福井で平年並、敦賀で平年より高くなりました。

月降水量は、福井・敦賀共に平年並でした。

月間日照時間は、福井で平年並、敦賀で平年より多くなりました。

2月 前半は、高気圧や低気圧が数日の周期で通過し、気温は高く経過しました。13日には、日本海を東進した低気圧の影響で南よりの風が強くなり、北陸地方で春一番を観測しました。16日から17日と20日から21日には、上空に寒気が入って冬型の気圧配置となりました。

21日以降は、本州付近を低気圧が通過することが多くなり、曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は、福井・敦賀共に平年よりかなり高くなりました。

月降水量は、福井・敦賀共に平年より少なくなりました。

月間日照時間は、福井で平年より多く、敦賀で平年よりかなり多くなりました。

3月 上旬から中旬にかけて天気は短い周期で変わり、気温がかなり高く経過しました。下旬には、真冬並の寒気が入ったため、気温が低くなりました。また、26日には、ソメイヨシノの開花を観測しました。これは、平年より10日、昨年より7日早く、観測史上最も早い開花となりました。

月平均気温は、福井で平年より高く、敦賀で平年よりかなり高くなりました。

月降水量は、福井で平年より多く、敦賀で平年並でした。

月間日照時間は、福井・敦賀共に平年並となりました。

4月 月のはじめは、寒気の影響で気温が低くなりましたが、上旬の中頃から中旬にかけては、高気圧に覆われて晴れた日が多く、気温は平年より高く経過しましたが、下旬には、強い寒気が南下して気温が低くなり、寒暖の変動が大きくなりました。

月平均気温は、福井で平年並、敦賀で平年より高くなりました。

月降水量は、福井・敦賀共に平年より少なくなりました。

月間日照時間は、福井・敦賀共に平年より多くなりました。

5月 天気は、上旬から中旬にかけて周期的に変わりました。17日には、前線の影響により嶺北で40ミリ以上の日降水量を観測したところがありました。下旬は、気圧の谷の影響で曇りの日が多く、27日には、嶺北を中心に雷雨となりました。

月平均気温は、福井で平年並、敦賀で平年より高くなりました。

月降水量は、福井で平年より少なくなりました。

月間日照時間は、福井で平年より少なく、敦賀で平年よりかなり少なくなりました。

6月 梅雨前線や気圧の谷の影響を受けて雨や曇りの日がありましたが、前線は本州から離れた南海上に停滞することが多かったことから、降水量も少なくなりました。

月平均気温は、福井・敦賀共に平年より高くなりました。

月降水量は、福井で平年より少なくなりました。

月間日照時間は、福井で平年より多く、敦賀で平年並となりました。

7月 梅雨前線が本州上に停滞し、前線上を低気圧が周期的に通過したため、曇りや雨の日が多くなりました。このため、下旬にかけては、降水量が多くなり、低温で日照時間も少なくなりました。

月平均気温は、福井・敦賀共に平年並となりました。

月降水量は、福井・敦賀共に平年並となりました。

月間日照時間は、福井・敦賀共に平年よりかなり少なくなりました。

8月 太平洋高気圧の日本付近への張り出しが弱く、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は、福井・敦賀共に平年より低くなりました。

月降水量は、福井で平年より多く、敦賀で平年並でした。

月間日照時間は、福井・敦賀共に平年より少なくなりました。

9月 高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、上旬の4日夕方には、奥越で雷雨となり、大野市付近で18時までの1時間降水量が110mmの猛烈な雨が降りました。

月平均気温は、福井・敦賀共に平年並でした。

月降水量は、福井で平年より少なく、敦賀で平年よりかなり少なくなりました。

月間日照時間は、福井で平年よりかなり多く、敦賀で平年より多くなりました。

10月 上旬と下旬に台風の影響を受けた日がありましたが、期間を通して概ね移動性高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。なお、上旬の8日に愛知県に台風第18号が上陸しましたが、日本に上陸した台風としては、2007年9月以来2年ぶり、10月としては、2004年以来5年ぶりとなりました。

月平均気温は、福井・敦賀共に平年より高くなりました。

月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年より少なくなりました。

月間日照時間は、福井・敦賀共に平年より多くなりました。

11月 上旬のはじめ頃と月の中頃には、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなり、寒暖の変動が大きくなりました。また、29日明け方には、上空の寒気と放射冷却により、福井で初霜を観測しました。昨年より3日早く、平年より6日遅い観測となりました。

月平均気温は、福井で平年並、敦賀で平年より高くなりました。

月降水量は、福井・敦賀共に平年より少なくなりました。

月間日照時間は、福井で平年並、敦賀で平年より少なくなりました。

12月 上旬は高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、中旬から下旬にかけて断続的に冬の気圧配置となり、雪や雨の日が多くなりました。特に、17日から20日は嶺北を中心に大雪となり、31日は奥越を中心に大雪となりました。

月平均気温は、福井・敦賀共に平年並となりました。

月降水量は、福井で平年より多く、敦賀で平年より少なくなりました。

月間日照時間は、福井・敦賀共に平年より少なくなりました。

第3章 防災訓練の実施状況

1 近畿府県合同防災訓練

県内および近畿2府7県の消防、警察、自衛隊等の防災関係機関や企業・団体ならびに地域住民など、約200の機関・団体から約3,600名の参加をえて、近畿府県合同防災訓練を実施しました。

1 目的

災害対策基本法、消防組織法、福井県地域防災計画および「近畿2府7県危機発生時の相互応援に関する基本協定」等に基づき、県内および近畿府県等の防災関係機関、関係団体、企業ならびに地域住民参加のもとに総合防災訓練を実施し、災害時における防災関係機関相互の連携を深め、広域的な防災体制の充実強化を図るとともに、住民参加による自助・共助意識の醸成など県民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2 訓練構成および主催・共催

(1) 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（1部訓練）

主催：消防庁、福井県、福井県消防長会

共催：三重県消防長会、滋賀県消防長会、京都府消防長会、大阪府下消防長会

兵庫県下消防長会、奈良県消防長会、和歌山県消防長会、徳島県消防長会

(2) 近畿府県合同防災訓練

ア 近畿2府7県合同防災訓練

福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県

イ 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（2部訓練）

主催：消防庁、福井県、福井県消防長会

共催：三重県消防長会、滋賀県消防長会、京都府消防長会、大阪府下消防長会

兵庫県下消防長会、奈良県消防長会、和歌山県消防長会、徳島県消防長会

ウ 福井県総合防災訓練

福井県、福井市、坂井市、あわら市、永平寺町

エ 福井県石油コンビナート等総合防災訓練

福井県、福井市、坂井市、福井市消防局、嶺北消防組合消防本部

3 実施日時

(1) 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（1部訓練）

平成21年10月17日（土）8時00分～18日（日）7時30分

(2) 近畿府県合同防災訓練

平成21年10月18日（日）8時30分～12時00分

4 実施場所

- (1) 坂井市三国町新保および福井市石新保町地係「テクノポート福井」および周辺海域
- (2) 坂井市春江町「福井空港」
- (3) 福井県庁「総合防災センター」
- (4) 坂井市春江町「嶺北消防組合消防本部」
- (5) その他（福井市、坂井市、あわら市、永平寺町）

5 訓練想定

平成21年10月18日（日）8時30分頃、嶺北北部（坂井市丸岡町付近）を震源とするM7.1の直下型地震（福井地震を発生させた福井平野東縁断層帯の断層周辺）が発生。坂井市・福井市で震度7を観測し、嶺北地方一帯で震度6弱以上を観測。

福井県は災害対策本部を設置し、被害情報の収集のため、福井県防災ヘリ、福井県警察航空隊ヘリによる偵察を指示するとともに、自衛隊にも偵察を依頼。坂井市や福井市などの広範な被害、建物等の倒壊や火災の発生、倒壊建物や事故車両等による交通障害等を把握したことから、自衛隊の災害派遣要請、緊急消防援助隊の派遣要請を行うとともに、偵察活動、救助活動に重要となる航空機の受入・統制を行うため、福井空港を活用し、航空機の効果的・効率的な運用を行う体制を整備する。

※10月17日の緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（1部訓練）も、発災日時を除き同じ想定に基づく。

6 訓練項目

- (1) 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（1部訓練）

ア 実施場所

(ア) 図上訓練

福井県庁「総合防災センター」

嶺北消防組合消防本部

(イ) 初動訓練（応援要請等情報伝達訓練を除く）

嶺北消防組合消防本部

テクノポート福井内「テクノポート福井総合公園」

(ウ) 野営訓練

テクノポート福井内「テクノポート福井総合公園」

イ 訓練種目

(ア) 図上訓練

- ・ 消防応援活動調整本部設置運営訓練
- ・ 緊急消防援助隊指揮支援本部設置運営訓練

(イ) 初動訓練

- ・ 応援要請等情報伝達訓練
- ・ 参集・集結訓練

- ・受援訓練
- (ウ) 野営訓練
 - ・野営訓練
 - ・検討会・意見交換会

(2) 近畿府県合同防災訓練

ア 実施場所

- | | |
|----------------|------------------|
| (ア) 図上訓練 | 「総合防災センター」 |
| (イ) 合同実動訓練 | 「テクノポート福井」「福井空港」 |
| (ウ) 防災啓発・防災展示等 | 「テクノポート福井」 |
| (エ) 総合閉会式 | 「テクノポート福井」 |

イ 訓練種目等

(ア) 図上訓練

- ・災害対策本部会議訓練
- ・情報伝達訓練

(イ) 合同実動訓練

「テクノポート福井（主会場）」

- ・災害情報収集訓練
- ・道路啓開（開通）訓練（消防団）
- ・道路啓開（開通）訓練（自衛隊）
- ・広域応援部隊投入訓練
- ・医療関係者空輸訓練
- ・中高層建物救出訓練
- ・合同指揮本部設置運営訓練
- ・応急救護所設置運営訓練
- ・土砂埋没車両救出訓練
- ・列車脱線事故救出訓練
- ・倒壊建物（木造）救出訓練
- ・毒劇物災害対応訓練
- ・ライフライン復旧訓練

「テクノポート福井（コンビナート陸上）」

- ・合同指揮本部設置運営訓練
- ・石油タンク火災防御訓練
- ・大容量泡放射システムによる消火訓練

「テクノポート福井（コンビナート海上）」

- ・広報活動及び被害状況調査訓練

- ・海中転落者吊り上げ救助訓練
- ・排出油防除及び火災消火訓練

「福井空港」

- ・航空統制訓練
- ・広域医療搬送訓練
- ・医療関係者空輸訓練
- ・広域応援部隊投入訓練

(ウ) 防災啓発・防災展示等

- ・炊き出し訓練
- ・仮設避難所設営訓練
- ・野外手術システム、自走架柱橋の展示
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練
- ・各種体験および展示

(エ) 総合閉会式

7 参加機関・団体等（順不同）

(1) 指定地方行政機関等

中部管区警察局（福井県情報通信部）、北陸総合通信局、近畿地方整備局（福井河川国道事務所）、北陸地方整備局（敦賀港湾事務所）、大阪航空局（小松空港事務所）、東京管区气象台（福井地方气象台）

(2) 消防関係

福井県下消防本部（局）、三重県下消防本部、滋賀県下消防本部（局）、京都府下消防本部（局）、大阪府下消防本部（局）、兵庫県下消防本部（局）、奈良県下消防本部（局）、和歌山県下消防本部（局）、徳島県下消防本部（局）

(3) 警察関係

福井県警察（警備課、機動隊、地域課、交通規制課、坂井西警察署）
警察広域緊急援助隊

(4) 自衛隊関係

陸上自衛隊（中央即応集団（第1へり団）、第14普通科連隊、第10飛行隊、第10後方支援連隊、第372施設中隊）、海上自衛隊（舞鶴地方総監部、第23航空隊）、航空自衛隊（第6航空団、小松救難隊）、自衛隊福井地方協力本部、自衛隊舞鶴病院

(5) 海上保安庁

第八管区海上保安本部（舞鶴海上保安部、敦賀海上保安部、福井海上保安署、美保航空基地）

(6) 指定公共機関・指定地方公共機関等

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTドコモ北陸支社、KDDI(株)北陸総支社、北陸電力(株)（福井支店、福井火力発電所）、関西電力(株)、日本原子力発電(株)、独立行政法人日

本原子力研究開発機構、(社)福井県LPGガス協会、中日本高速道路㈱金沢支社福井保全サービスセンター、郵便局㈱北陸支社

(7) 医療関係機関

(社)福井県医師会、日本赤十字社京都府支部、日本赤十字社大阪府支部、日本赤十字社兵庫県支部、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、福井赤十字病院、福井県立病院、福井県済生会病院、福井大学医学部附属病院、杉田玄白記念公立小浜病院、自衛隊舞鶴病院、三重大学医学部附属病院、大津赤十字病院、近江八幡市立総合医療センター、草津総合病院、公立甲賀病院、済生会滋賀県病院、滋賀医科大学医学部附属病院、長浜赤十字病院、京都府立与謝の海病院、独立行政法人国立病院機構京都医療センター、公立山城病院、京都第一赤十字病院、高槻赤十字病院、公立豊岡病院組合立豊岡病院、柏原赤十字病院、独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター、徳島県立中央病院、徳島赤十字病院、赤十字飛行隊福井支隊、福井県赤十字救護奉仕団、坂井市赤十字奉仕団

(8) 企業・団体等

(社)日本自動車連盟福井支部、NPO法人災害救助犬訓練所、NPO法人日本災害飛行救援協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(社)日本簡易ガス協会近畿支部福井県防災会、(社)日本道路建設業協会関西支部

福井国家石油備蓄基地事務所、福井石油備蓄㈱福井事務所、北陸地区広域共同防災協議会、三国共同防災協議会、東西オイルターミナル㈱福井油槽所、ジャパンオイルネットワーク㈱福井油槽所、福井港災害事故防止対策協議会、福井埠頭㈱、㈱三国、㈱浅原組、北陸地方非常通信協議会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、(財)移動無線センター

(9) 消防団

福井市消防団、嶺北消防組合あわら消防団、嶺北消防組合坂井消防団

(10) 地方公共団体

福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、富山県、石川県
福井市、坂井市、あわら市、永平寺町

8 協力

吉野石膏株式会社、テクノポート福井企業連絡会

Ⅱ 原子力防災総合訓練

平成21年度原子力防災総合訓練を、次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および原子力災害対策特別措置法に基づき、国、県、関係府市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力防災訓練を実施し、緊急時における通信連絡体制の確立、緊急時医療活動等の災害対策の習熟と、防災関係機関相互の協力体制の強化を図るとともに、住民の原子力防災に対する理解の促進を図ることを目的とする。

2 主 催 福井県、美浜町、敦賀市

3 実施日 平成21年11月22日（日）

4 訓練対象発電所 関西電力(株) 美浜発電所3号機

5 参加・協力機関（順不同）

(1) 国の関係機関等

ア 本省

内閣府原子力安全委員会、経済産業省原子力安全・保安院、地域原子力安全統括管理官事務所（若狭地域担当）、美浜原子力保安検査官事務所、敦賀原子力保安検査官事務所、大飯原子力保安検査官事務所、高浜原子力保安検査官事務所、文部科学省、総務省消防庁

イ 指定地方行政機関等

経済産業省中部近畿産業保安監督部、同近畿経済産業局、中部管区警察局福井県情報通信部、文部科学省敦賀原子力事務所、厚生労働省福井労働局、国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所、同中部運輸局福井運輸支局、気象庁福井地方气象台、海上保安庁第八管区海上保安本部、同美保航空基地、敦賀海上保安部、(独)原子力安全基盤機構、原子力緊急時支援・研修センター

(2) 自衛隊関係

陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第372施設中隊、陸上自衛隊第10飛行隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊第23航空隊、航空自衛隊第6航空団、自衛隊福井地方協力本部

(3) 自治体関係

石川県、滋賀県、京都府、小浜市、高浜町、おおい町、県内各市町

(4) 警察関係

福井県警察本部、敦賀警察署

(5) 消防関係

敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、福井市消防局、永平寺町消防本部、

県内各消防本部、美浜町消防団、敦賀市消防団

(6) 医療機関関係

(社) 福井県医師会、日本赤十字社福井県支部、(社) 福井県放射線技師会、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、広島大学、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、社会保険高浜病院、国立病院機構福井病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井社会保険病院、公立丹南病院、レイクヒルズ美方病院、市立三国病院

(7) 報道機関

日本放送協会福井放送局、福井放送(株)、福井テレビジョン放送(株)、福井エフエム放送(株)、美方ケーブルネットワーク(株)、その他報道機関

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTドコモ北陸支社

(9) 交通運輸関係

(社) 福井県バス協会、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社、その他バス事業者

(10) 漁業関係

福井県無線漁業協同組合、福井県漁業協同組合連合会、美浜町漁業協同組合、敦賀市漁業協同組合、若狭三方漁業協同組合、若狭高浜漁業協同組合、河野村漁業協同組合、小浜市漁業協同組合、大島漁業協同組合、雄島漁業協同組合、三国港漁業協同組合、三国港機船底曳網漁業協同組合、福井市漁業協同組合、越廼漁業協同組合、越前町漁業協同組合

(11) 原子力事業者関係

関西電力(株)、日本原子力発電(株)、(独) 日本原子力研究開発機構、(財) 原子力安全技術センター、関電プラント(株)、原電情報システム(株)、原電事業(株)

(12) 各種団体等

北陸地方非常通信協議会、(社福) 美浜町社会福祉協議会、(社福) 敦賀市社会福祉協議会 他

(13) 主催者

福井県、美浜町、敦賀市

6 訓練想定

平成21年11月22日、関西電力(株)美浜発電所3号機において、一次冷却材の漏えいから炉心損傷に至り排気筒から放射性物質が放出され、周辺環境に影響を及ぼすおそれが生じたという想定で、福井県地域防災計画(原子力防災編)等に基づく各種の応急活動を実施する。

7 訓練項目

(1) 緊急時通信連絡訓練

- ア 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、收受等
- イ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達
- ウ 衛星車載局および携帯型映像伝送装置を利用した画像伝送
- エ ヘリコプターテレビ伝送システム(ヘリテレ)を利用した画像伝送

(2) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県総合防災センター（原子力災害対策本部室）における災害対策本部等の運営および福井県美浜原子力防災センターにおける県現地災害対策本部等の運営
- イ 関係市町における災害対策本部等の運営および福井県美浜原子力防災センターにおける関係市町現地災害対策本部等の運営
- ウ 災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(3) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議への参画
- ウ 国災害対策本部等との対策会議の実施
- エ 緊急事態対応方針決定会議への参画
- オ 原子力災害合同対策協議会への参画
- カ 各機能班への参画
- キ 現地災害対策本部等と各機能班との連携
- ク 福井県敦賀原子力防災センターにおける後方支援の実施

(4) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 知事による災害派遣要請
- ウ 住民の避難援助
- エ 避難者等の捜索
- オ 空中モニタリング支援
- カ 海上モニタリング支援

(5) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンターの設置・運営
- イ 待機施設の設置・運営および後方支援
- ウ 相互応援による職員派遣および資機材の提供
- エ 連続監視・拡散予測
- オ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理
- カ モニタリングカーによる陸上モニタリング
- キ 船舶による海上モニタリング
- ク ヘリコプターによる空中モニタリング
- ケ 高機能モニタリングカーによる環境試料測定
- コ 環境試料の採取・簡易測定・搬送および仮設機器の設置・運用・撤収
- サ オフサイトセンター機能班（放射線班）との連携

(6) 緊急被ばく医療措置訓練

- ア 緊急時医療本部等の運営
- イ 福井県敦賀原子力防災センターおよび二州健康福祉センターにおける後方支援の実施
- ウ 医療資機材の搬送および点検
- エ ヨウ素剤搬送および調剤
- オ スクリーニング
- カ 除染・検査、救急医療、救急搬送 [救急車、ヘリコプター]
- キ 市立敦賀病院（初期被ばく医療機関）、県立病院緊急時医療対策施設（二次被ばく医療機関）、福井大学医学部附属病院（二次被ばく医療支援機関）への搬送
- ク 福井大学医学部附属病院（二次被ばく医療支援機関）から専門医の現地派遣
- ケ 広島大学（三次被ばく医療機関）との連携
- コ 避難所における心とからだの健康相談窓口の設置
- サ 地域住民等に対する講習会の実施

(7) 住民避難・退避訓練

- ア 自衛隊車両、民間バス等による住民等の陸路からの避難・退避
- イ 防災関係機関のヘリコプターによる住民等の空路からの避難
- ウ 海上保安庁巡視船、漁船、県船舶による住民等の海路からの避難
- エ 福祉車両による災害時要援護者の避難・退避
- オ 一時滞在者の自家用車による避難および誘導（試行）
- カ 防災関係機関の連携による避難
- キ 避難区域内の事故情報センターの設置・運営

(8) 避難所等運営訓練

- ア 被災地住民の登録
- イ 避難住民への事故状況説明や解説アナウンスの実施
- ウ 避難所・救護所の設置運営
- エ 飲料水・飲食物の供給
- オ 災害用伝言ダイヤルの活用
- カ 避難所への原子力防災センター内画像等の伝送
- キ 手話通訳、外国語通訳の配置

(9) 広報訓練

- ア 報道機関への報道要請
- イ ケーブルテレビ、屋外拡声器、広報車、船舶等による地域住民等への広報

(10) 交通対策等措置訓練

- ア 交通規制措置（陸上・海上）
- イ 立入制限措置
- ウ 一時滞在者に関する情報収集および交通制限

(11) 避難地域に対する関係機関の対応訓練

- ア ヘリコプターおよび船舶による偵察活動訓練（画像伝送等）
- イ 軽装甲車およびオフロードバイクによる偵察活動訓練
- ウ 被害情報等収集、情報伝達訓練

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

※このほか、適宜図上訓練等を実施している。

種別	年度	17	18	19	20	21
総合防災訓練	日時	平成17年9月4日(日)	平成18年9月3日(日)	平成19年8月26日(日)	平成20年9月7日(日)(当日中止)	平成21年10月18日(日)
	場所	勝山市伊天経地公園およびえちぜん鉄道勝山駅周辺	小浜市川崎地区(小浜漁港)	福井市下森田地区(九頭竜川緑地多目的広場)	南越前町今庄365スキー場	テクノポート福井 福井空港、福井県庁 他
	主催	福井県、勝山市他奥越地域全市村	福井県、嶺南地域各市町	福井県、福井・坂井地域各市町	福井県、丹南地域各市町	近畿2府7県、各府県消防長会、福井市、坂井市、あわら市、永平寺町 他
	参加機関	77	81	77	78	200
	訓練種目	32	26	25	36	40
	想定	集中豪雨による災害	地震による災害(津波を含む)	地震による災害	地震による災害 ※大雨・洪水警報発令のため、住民避難訓練と防災研修会のみ実施	地震による災害
	参加人員	1,300	1,644	2,800	480	3,600
	日時		平成18年5月28日(日)			
	場所		福井蘆海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域			
	主催		福井県石油コンビナート等防災本部			
石油コンビナート等総合防災訓練	参加機関		27			
	訓練種目		27			
	想定		船舶火災、タンク火災			
	参加人員		1,060			
	日時	(休止)	平成18年11月19日(日)	平成19年11月18日(日)	平成20年10月25日(土)	平成21年11月22日(日)
	訓練対象施設		関西電力(株)大浜発電所1号機	日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機	関西電力(株)高浜発電所3号機	関西電力(株)美浜発電所3号機
	主催		福井県、おおい町、小浜市、高浜町	福井県、敦賀市、美浜町、南越前町	福井県、高浜町、おおい町	福井県、美浜町、敦賀市
	参加機関		105	115	120	120
	訓練種目		10	10	13	11
	想定		放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ
参加人員		1,600	1,500	2,000	1,500	
国民保護訓練	日時	平成17年11月27日(日)				
	場所	関西電力㈱ 美浜発電所2号機				
	主催	内閣官房、福井県、美浜町、敦賀市				
	参加機関	140				
	訓練種目	6				
	想定	テログループによる攻撃を受け、施設の一部が損傷を受けたことにより、放射性物質が放出されるおそれが生じる				
	参加人員	1,800				

IV 市町別自主防災組織の結成状況

平成22年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (B/A)
福 井 市	93,590	1,128	76,715	76,715	82.0%
敦 賀 市	27,105	83	2,640	21,598	79.7%
小 浜 市	11,589	83	879	5,829	50.3%
大 野 市	11,701	190	4,723	9,064	77.5%
勝 山 市	8,010	106	1,466	6,762	84.4%
鯖 江 市	21,295	146	6,889	20,192	94.8%
あ わ ら 市	9,862	27	1,082	3,531	35.8%
越 前 市	26,713	236	9,440	26,154	97.9%
坂 井 市	28,762	309	2,877	20,017	69.6%
永 平 寺 町	5,928	90	3,298	5,499	92.8%
池 田 町	1,071	21	158	787	73.5%
南 越 前 町	3,545	68	875	3,518	99.2%
越 前 町	7,288	34	620	4,826	66.2%
美 浜 町	3,731	14	154	1,810	48.5%
高 浜 町	4,058	5	115	292	7.2%
お お い 町	3,111	6	66	471	15.1%
若 狭 町	4,933	97	1,478	4,478	90.8%
合計・ 平均	272,292	2,643	113,475	211,543	77.7%

※管内世帯数は、住民基本台帳人口に基づく人口、世帯数調べ（平成22年3月末現在）

第4章 平成21年度防災行政無線利用状況

概 況

平成10年4月から運用を開始した福井県防災情報ネットワークは、デジタル多重回線や衛星回線による2ルート化等の特色を持っており、同年10月には衛星車載局を加え、災害現場からの映像による情報伝達が可能となるなど通信体制がより強化され、県の防災対策において大きな役割を果たしてきた。平成19年度には、60MHzから260MHzへの周波数移行に伴い防災情報ネットワーク再整備工事を実施することにより、本ネットワークは、衛星回線、多重無線回線、260MHzデジタル通信回線、260MHzヘリ用通信回線、150MHzアナログ移動回線で構成されるようになった。一般行政事務用として電話・FAXに使われると共に、県の行政情報ネットワークや各種テレメータにも活用されている。

今後は、災害時において防災行政無線を利用しての情報収集・伝達活動が迅速に行えるよう、定期的に通信訓練を行っていく。また、全局を対象に機器の保守点検を実施し、その際には現地で各局の防災行政無線担当者に対し機器操作の指導等を行い、防災関係機関との連携をより強化していく。

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧 (平成22年4月1日現在)

〔固定系〕

区 分	局 数		設 置 場 所
	地上系	衛星系	
統 制 局	1	1	県庁
中 継 局	7		越知山 (越前町大谷寺) 久須夜ヶ岳 (小浜市堅海) 村国山 (越前市村国) 陣ヶ岡 (坂井市三国町陣ヶ岡) 八ツ杉 (越前市別印) 岳山 (三方郡美浜町早瀬) 青葉山 (大飯郡高浜町中山)
支 部 局	10		10土木事務所 (福井、三国、大野、勝山、鯖江、武生、今立、朝日、敦賀、小浜)
合 庁 局	3		3合同庁舎 (福井、丹生、坂井)
ダム管等局	11		原子力センター (敦賀市吉河) 龍ヶ鼻ダム管 (坂井市丸岡町上竹田) 龍ヶ鼻ダム下流事務所 (坂井市丸岡町長畝) 永平寺ダム (永平寺町志比) 笹生川ダム管 (大野市中野) 笹生川堰堤 (大野市本戸) 広野ダム管 (南越前町今庄) 広野堰堤 (南越前町広野) 榎谷ダム (南越前町宇津尾) 真名川発電 (大野市五条方) 浄土寺川ダム (勝山市村岡町浄土寺)
小 計	32	1	
端 末 局	県出先機関	16	16：健康福祉センター (福井、坂井、奥越、丹南、三州、若狭) 武生福祉保健部、県立病院、越前漁港、福井港湾 敦賀港湾、福井空港、環境センター、防災航空事務所 坂井上水、日野川上水
	市 町	33	9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭 11旧町：美山、清水、今立、丸岡、三国、春江、永平寺、今庄、越前、織田、上中
	消防本部	9	9 消防本部 (福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭)
	国・公共機関等	15	15：福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜、大飯、ふげん、もんじゅ
	小 計		73
衛 星 車 載		1	
可 搬 型 地 球 局		1	
合 計	32	76	

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、八ツ杉） 土木事務所（勝山、敦賀） 笹生川ダム管
	第二全県移動	8	県 庁 中 継 局（越知山、久須夜ヶ岳、村国山） 土木事務所（三国、勝山、大野、敦賀）
	FWA (18GHz)	1	土木事務所（三国）
	400MHz 防災相互	1	防災航空事務所
	計	21	
携帯基地局（ヘリ用） 260MHzデジタル		5	中継局（越知山、久須夜ヶ岳） 土木事務所（三国、大野、敦賀）
航 空 局		4	防災航空事務所（可搬用含む）
陸 上 移 動 局	全県移動局 260MHzデジタル	車載型 47	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、大野4台、勝山3台、武生4台、 今立3台、朝日6台、敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所、衛星車載局
		半固定型 39	県出先機関8台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所 市9台：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 町8台：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭 消防本部9台：福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭 防災関係機関5台：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井
		携帯型 70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
		小 計 156	
	第二全県移動局	車載型 17	県庁 14台、奥越合同庁舎、若狭合同庁舎、衛星車載局
		可搬型 5	県庁 5台
		小 計 22	
	FWA (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局
	消 防 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所
		携帯型 8	県庁 2台、防災航空事務所 6台
		小 計 9	
	防 災 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所、400MHz 防災相互
		携帯型 5	
		小 計 6	
計		194	
携 帯 局（ヘリ用）	防災用 1	防災ヘリコプター	
	消防用 1	〃	
	小 計 2		
航 空 機 局		航行運航用 1	
簡 易 無 線 局		2	簡易画像伝送装置
合 計		229	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

平成21年中

区 分	一年間の総計	一月月当たりの 平均使用回数	一局当たりの 月平均使用回数
支 部 局	157,554	13,130	(10局) 1,313
合庁・ダム管等局	74,079	6,173	(18局) 343
県 出 先 機 関	5,216	434	(18局) 24
市 町	14,570	1,214	(34局) 36
消 防 本 部	550	45	(9局) 5
国 出 先 機 関	42	3	(5局) 0.7
公 共 機 関	206	17	(9局) 1.9
原 子 力 発 電 所	57	5	(6局) 0.8
合 計	252,274	21,022	(110局) 191

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

平成21年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指令回数	39	745	509	1,293	499	155	1,947
前年比(%)	84	110	98	104	196	267	125

[指令種別]

平成21年中

区 分	全 県	支 部	市 町	消 防	支 部 市 町	合 計
指令回数	900	101	496	518	—	2,015
前年比(%)	116	115	175	219	—	146

(3) 一斉指令月別通信回数

区分	平成21年中												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
気警報	9	3	0	4	0	2	5	3	2	5	4	2	39
象注意報	83	61	69	56	44	31	96	66	31	75	58	75	745
関情報	89	84	71	26	18	13	42	19	7	27	27	86	509
係小計	181	148	140	86	62	46	143	88	40	107	89	163	1293
事務連絡	20	27	30	59	49	64	75	44	22	45	35	29	499
テス卜	9	19	20	8	11	7	22	19	4	6	23	7	155
計	210	194	190	153	122	117	240	151	66	158	147	199	1947
全県一斉	67	41	129	71	54	41	34	86	40	96	85	156	900
支部・合庁・他	16	12	10	3	9	10	7	23	1	0	4	6	101
市町一斉	21	39	50	70	47	67	87	43	2	26	31	13	496
消防一斉	25	38	43	69	44	63	60	31	22	43	50	30	518
支都市町一斉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	129	130	232	213	154	181	188	183	65	165	170	205	2015

3 多重局通信回数集計表

平成21年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	2,527	2,593	3,003	3,853	3,026	28	2,662	2,501	2,404	2,915	2,348	2,724	30,584
三国支部	1,002	1,066	1,222	1,427	1,200	8	1,191	1,202	1,209	1,565	1,087	1,173	13,352
大野支部	1,344	1,347	1,760	2,132	1,598	22	1,585	1,677	1,424	1,578	1,464	1,606	17,537
勝山支部	568	607	580	881	727	15	252	215	160	286	166	189	4,646
鯖江支部	5	0	1	0	8	0	18	5	13	3	1	4	58
武生支部	1,979	2,315	3,093	3,481	2,815	35	2,617	2,528	2,273	2,810	2,298	2,383	28,627
今立支部	512	649	712	839	695	8	17	13	0	0	3	1	3,449
朝日支部	1,776	1,920	2,157	2,243	1,763	21	1,586	1,526	1,385	1,584	1,378	1,698	19,037
敦賀支部	1,106	1,263	1,616	1,904	1,542	22	1,528	1,343	1,310	1,521	1,366	1,463	15,984
小浜支部	1,985	2,172	2,561	2,966	2,354	28	2,115	1,982	1,827	2,253	1,957	2,100	24,280
福井合庁	2,779	2,832	3,807	4,468	3,752	68	3,265	3,141	3,033	3,284	2,779	2,784	35,992
坂井合庁	1,073	1,168	1,401	1,634	1,313	25	1,215	1,104	1,182	1,243	1,025	1,080	13,463
奥越合庁	182	282	335	294	277	8	220	224	286	327	292	244	2,971
南越合庁	983	987	1,100	1,275	1,150	16	927	850	792	949	795	797	10,601
敦賀合庁	56	57	82	92	97	0	49	30	39	43	32	56	633
若狭合庁	0	1	0	22	24	1	24	25	22	31	24	4	178
丹生合庁	318	327	499	598	420	8	406	382	457	525	435	409	4,784
原子力センタ	242	256	355	260	259	5	204	260	206	277	265	228	2,817
笹生川ダム	44	66	85	103	95	1	80	103	80	90	74	126	947
広野ダム	1	1	0	4	1	0	2	1	2	0	7	2	21
広野堰堤	31	40	35	30	32	1	23	31	35	32	31	31	352
真名川発電	31	34	48	44	33	3	51	64	49	46	63	57	523
奥越発電	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	11
龍ノ鼻ダム	47	51	53	61	67	1	65	75	46	49	36	65	616
浄土寺川ダム	4	0	1	15	15	0	19	2	3	6	8	4	77
永平寺ダム	0	7	1	3	3	0	0	5	3	0	1	2	25
笹生川堰堤	2	0	0	21	0	0	3	3	7	3	3	1	43
榎谷ダム	1	1	7	2	1	0	1	7	2	0	1	2	25
計	18,580	20,043	24,514	28,652	23,267	324	20,125	19,299	18,249	21,420	17,943	19,237	231,633

4 端末局無線通信回数調

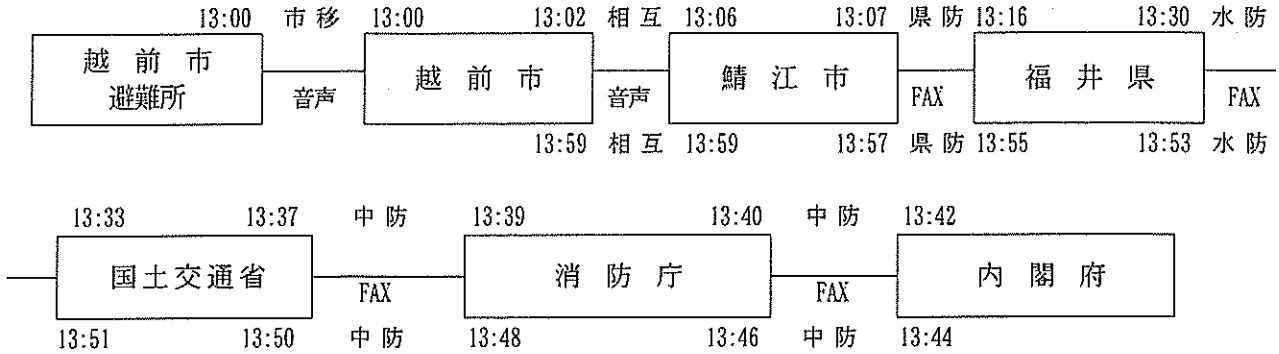
平成21年中

無 線 局	通 信 回 数	無 線 局	通 信 回 数	無 線 局	通 信 回 数
福 井 市	805	衛 生 環 境	1428	福 井 気 象 台	13
福 井 市 美 山	483	福 井 保 健	143	鯖 江 自 衛 隊	8
福 井 市 清 水	354	坂 井 保 健	169	舞 鶴 自 衛 隊	7
福 井 市 越 廼	352	大 野 保 健	85	敦 賀 海 保	9
敦 賀 市	586	勝 山 保 健	0	三 国 海 保	5
小 浜 市	616	鯖 江 保 健	169	国 出 先 計	42
大 野 市	597	武 生 保 健	15		
大 野 市 和 泉	378	二 州 保 健	150		
勝 山 市	444	若 狭 保 健	55	福 井 駅	33
鯖 江 市	120	県 立 病 院	81	N H K	31
あ わ ら 市	484	越 前 漁 港	535	日 赤 福 井	2
あ わ ら 市 芦 原	0	福 井 港 湾	465	福 井 県 医 師 会	2
越 前 市	454	敦 賀 港 湾	1367	福 井 火 力	11
越 前 市 今 立	414	福 井 空 港	40	福 井 備 蓄	35
坂 井 市	529	中 島 発 電	4	公 共 機 関 計	114
坂 井 市 三 国	380	滝 波 発 電	292		
坂 井 市 丸 岡	361	坂 井 上 水	127	原 電 敦 賀	8
坂 井 市 春 江	440	防 災 航 空 事 務 所	91	関 電 美 浜	13
市 計	7,797	県 出 先 計	5,216	関 電 高 浜	6
永 平 寺 町	430			関 電 大 飯	8
永 平 寺 町 永 平 寺	0	福 井 消 防	39	「サイクル機構」ふげん	6
永 平 寺 町 上 志 比	351			「サイクル機構」もんじゅ	16
池 田 町	429	大 野 消 防	83	原 子 力 発 電 所 計	57
南 越 前 町	403	勝 山 消 防	90		
南 越 前 町 今 庄	368	永 平 寺 消 防	39		
南 越 前 町 河 野	361	嶺 北 消 防	78		
越 前 町	602	鯖 江 丹 生 消 防	50		
越 前 町 宮 崎	362	南 越 消 防	68		
越 前 町 越 前	400	敦 賀 美 方 消 防	45		
越 前 町 織 田	364	若 狭 消 防	58		
美 浜 町	452	消 防 計	550		
高 浜 町	486				
お お い 町	498				
お お い 町 名 田 庄	344				
若 狭 町	495				
若 狭 町 上 中	428				
町 村 計	6,773				
市 町 村 計	14,570			合 計	20,549

5 非常無線通信訓練実施状況

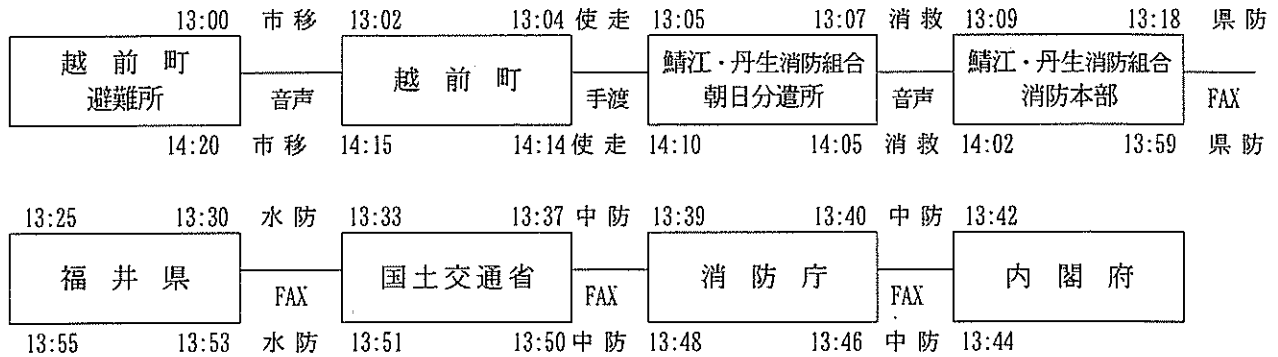
(1) 平成21年度第71回春期全国非常通信訓練 (平成21年6月15日)

①. 越前市から福井県知事あて、福井県知事から内閣府へ往復信



所要時間 往信 42分 復信 15分

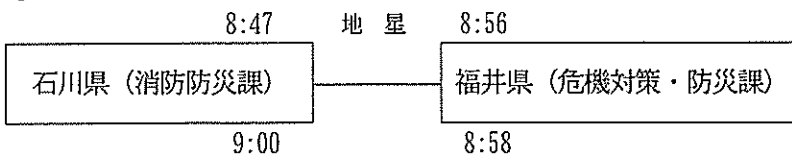
②. 越前町長から福井県知事あて、福井県知事から内閣府へ往復信



所要時間 往信 42分 復信 36分

(2) 平成21年度 石川県非常通信訓練 (平成21年9月6日)

①. 石川県知事から福井県知事あて往復信

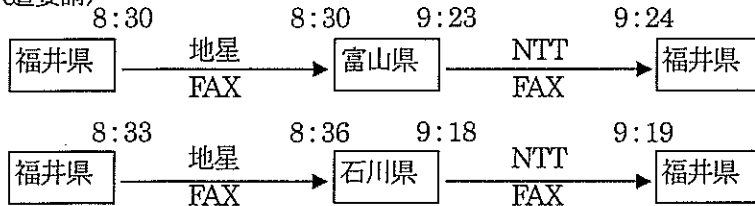


所要時間 往信 9分 復信 2分

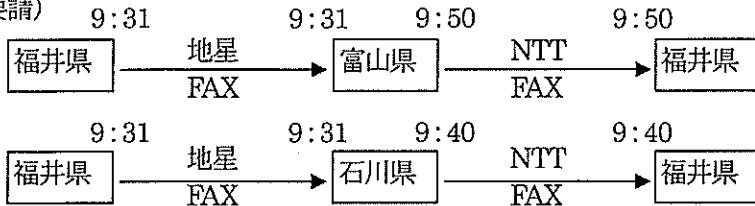
(3) 平成21年度近畿府県合同防災訓練 (平成21年10月18日)

①. 北陸3県非常通信訓練

(防災ヘリ派遣要請)

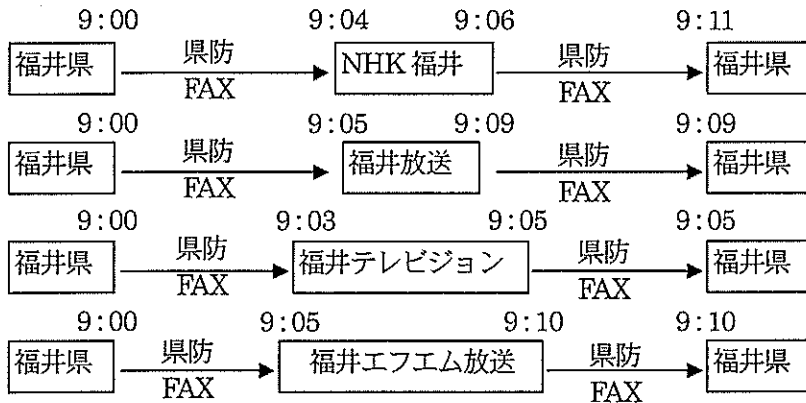


(応援物資要請)



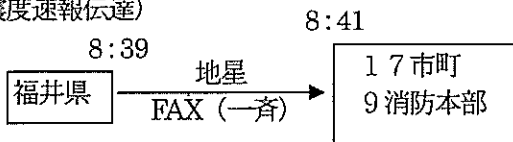
※豪雨または回線集中の影響で衛星回線による通信が不調であったため、復信についてバックアップ用のNTT回線を用いた。

②. 情報伝達訓練 (協定に基づく放送要請) 実施結果

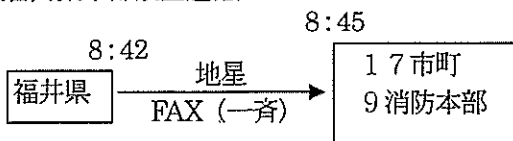


③. 県下一斉指令訓練

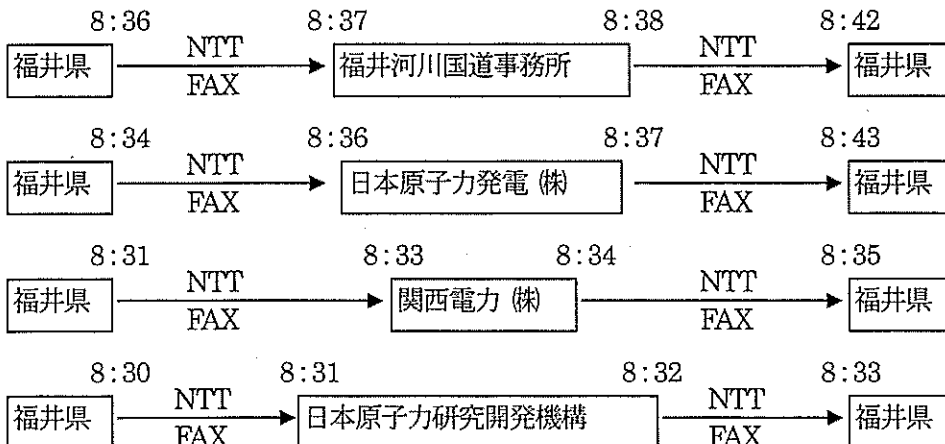
(震度速報伝達)



(災害対策本部設置連絡)

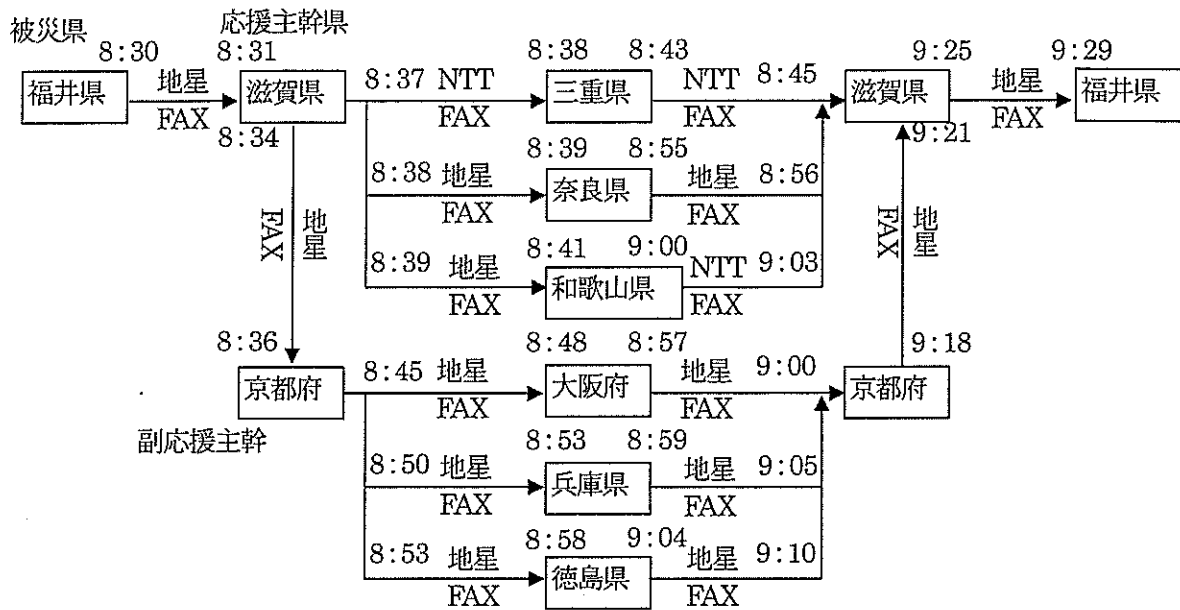


④. 関係機関情報伝達訓練

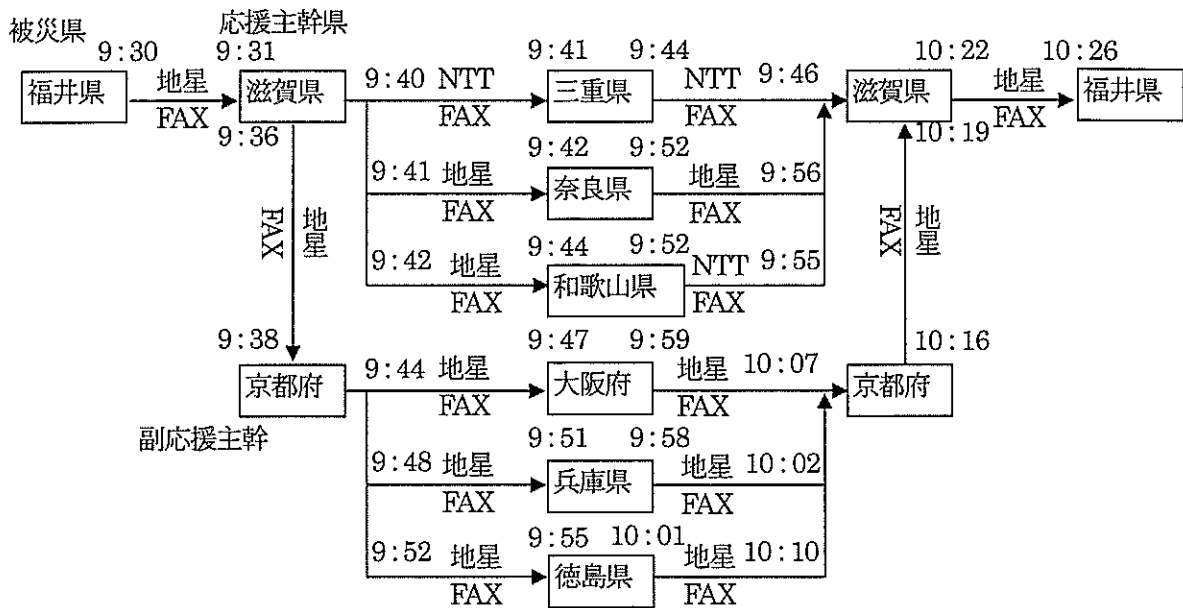


⑤. 近畿2府7県非常通信訓練

(防災ヘリ派遣要請)

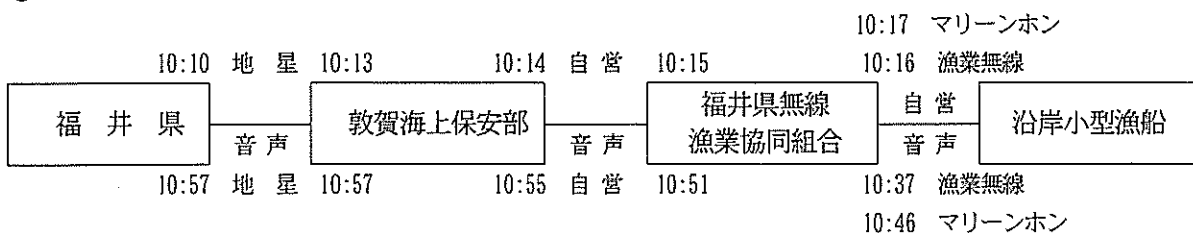


(応援物資要請)



(3) 平成21年度原子力防災総合訓練に伴う非常通信訓練 (平成21年11月22日)

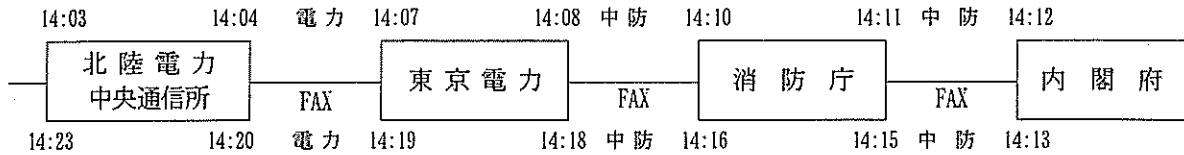
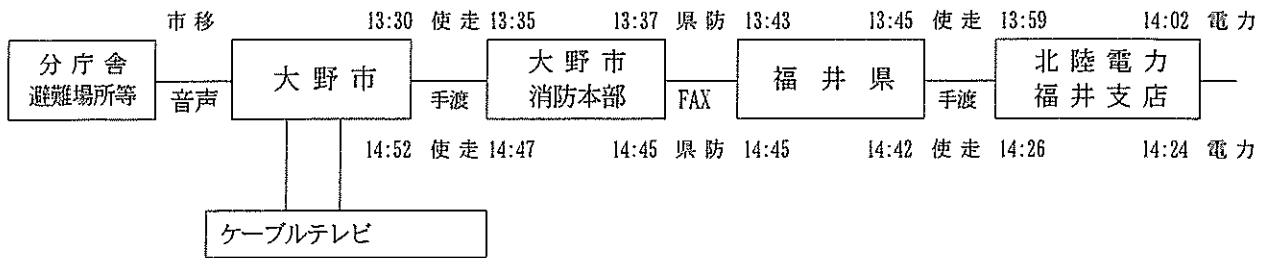
①. 福井県から福井県無線漁業協同組合へ往復信



所要時間 往信 7分 復信 11分

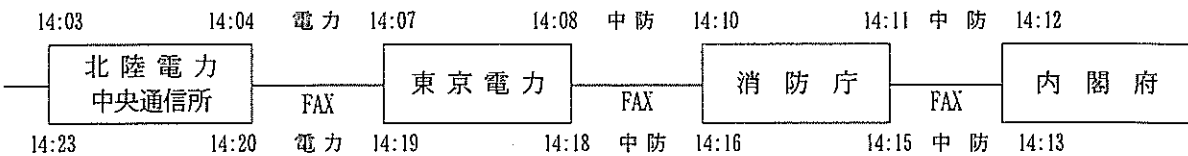
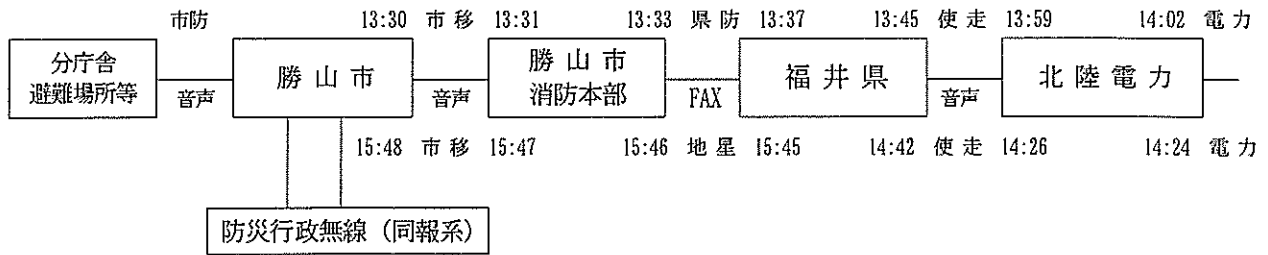
(4) 平成21年度 第72回 秋期全国非常通信訓練 (平成21年11月25日)

①. 大野市から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



所要時間 往信 42分 復信 39分

②. 勝山市から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



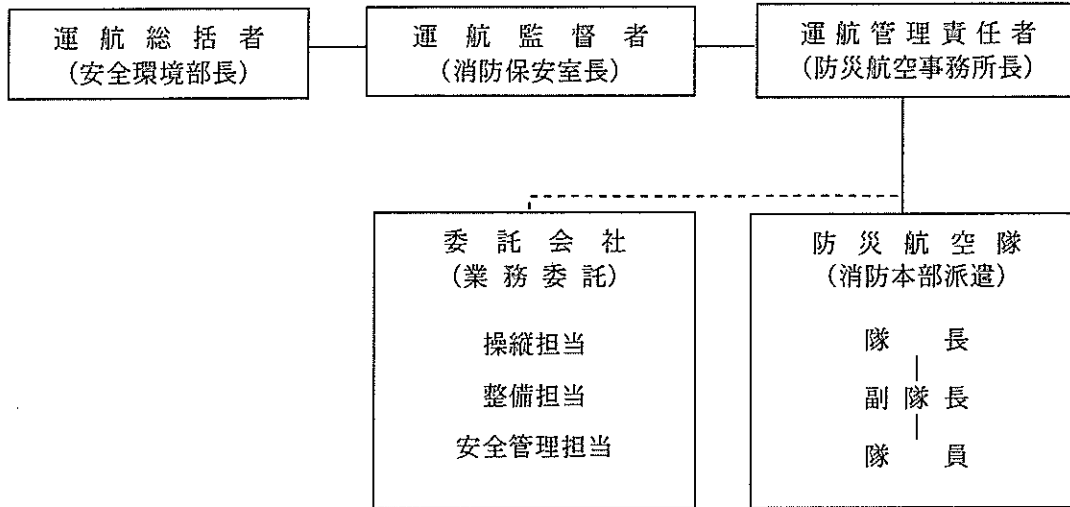
所要時間 往信 42分 復信 95分

第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井空港内福井県防災航空事務所

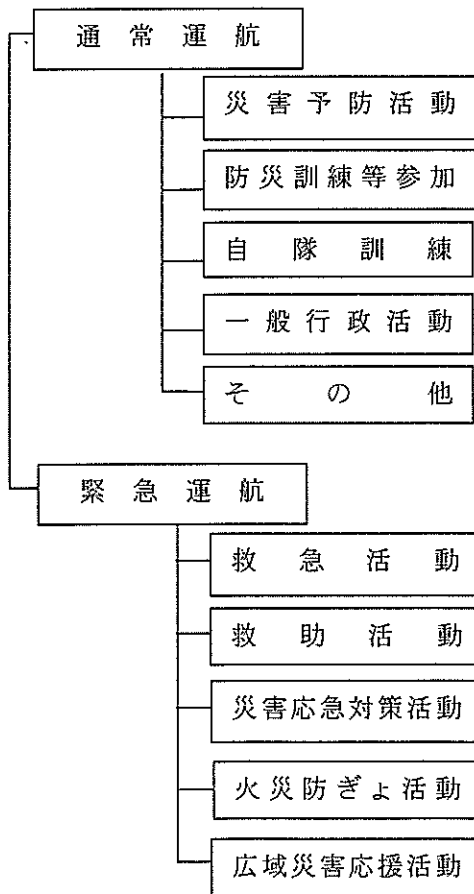
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時30分まで
(ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-1
メーカー(製造国)	川崎重工業(日本)
エンジン最大出力	1,384 SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,350 kg
最大搭載可能重量	1,586 kg
航続距離(機外タンク使用)	740 km
担架搬入装置	4基
ホイスト装置	270 kg
貨物吊り下げ装置	1,300 kg
全長	13.00 m
全高	3.85 m
最大速度	278 km/h
航続時間	3.3 h
着陸方式	スキッド方式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

平成22年3月31日現在

	緊急運航						通常運航						合計	
	救急 件数 時間	救助 件数 時間	災害応急 件数 時間	火災防衛 件数 時間	広域災害 心援 件数 時間	計 件数 時間	自隊訓練 件数 時間	防災訓練 参加 件数 時間	災害予防活動		整備	その他		
									危険箇所 調査	災害予防 広報				
平成12年度	19 17:42	14 7:09		1 1:10		34 26:01	101 139:10	52 41:55	6 10:40	6 14:46	29 33:45	17 7:30	11 7:45	256 281:32
平成13年度	12 18:22	13 11:21		6 9:45	2 16:05	33 55:33	113 138:40	48 39:35	9 13:00	24 34:30	34 28:10	19 9:35	5 5:45	285 324:48
平成14年度	18 15:14	21 24:45	3 4:55	1 0:10	4 7:52	47 52:56	91 110:01	57 48:39	10 11:50	5 8:55	25 26:29	4 1:30	4 9:02	243 269:22
平成15年度	25 16:10	29 16:20		1 0:35	2 2:15	57 35:20	140 180:41	58 51:55	6 7:20	7 12:35	19 19:46	3 7:07	5 2:20	295 317:04
平成16年度	32 23:17	32 36:59	5 13:00	5 5:27	9 19:22	83 98:05	91 109:25	44 38:15	7 9:23	2 6:12	7 10:05	7 10:20	3 2:02	244 283:47
平成17年度	36 27:24	27 18:46	0 0	4 4:09	8 11:19	75 61:38	98 135:21	38 30:20	0 0	6 11:30	11 13:07	5 7:40	2 1:26	235 261:02
平成18年度	35 25:00	26 27:31	4 3:26		1 1:08	66 57:05	96 131:13	43 37:04	0 0	3 5:00	16 19:28	6 2:09	3 2:19	233 254:18
平成19年度	36 18:15	37 40:29		3 8:27	2 1:02	78 68:13	107 148:44	60 58:03	0 0	3 11:15	9 7:32	19 18:04	6 5:17	282 317:08
平成20年度	34 30:41	27 19:05			7 7:30	68 57:16	96 122:16	48 39:54	0 0	3 11:17	7 6:22	12 9:36	12 14:09	246 260:50
平成21年度	21 7:36	28 23:32		3 1:01	15 31:21	67 63:30	82 127:17	45 34:06	0 0	3 10:49	4 3:17	10 10:03	4 4:42	215 253:44

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

第6章 衛星車載局の運用体制

1 収 容

福井県消防学校内

2 運用組織図

使用管理者 (危機対策・防災課長)	運用統括責任者：運用総括業務	1名
	通信機器操作員：通信機器類の操作、調整 県庁統制局の操作、調整	2名 1名
	情報収集伝達員：情報の収集、伝達	2名

3 運 用

非常時の運用

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

平常時の運用

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時も映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

4 主な仕様

<アンテナ装置>

反射鏡部	オフセットパラボラ	有効開口径 1.8m
駆動部	電動/手動	
衛星捕捉	GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能	

<送受信装置>

画像系電力増幅部	飽和最大出力	300W以上 (TWT)
個別通信系電力増幅部	飽和最大出力	40W以上 (SSPA)

<端局装置>

実装チャンネル数	個別最大通信回線用	4CH
	一斉指令用	1CH
	デジタル画像送信用	1CH
	デジタル画像受信用	1CH
	デジタル画像(準動画)用	1CH
デジタル画像変復調部	動 画	6 Mbps
	準動画	64 kbps / 384 kbps 切替可能

<一斉指令装置>

一斉指令	衛星系端末局向けに音声・FAXによる発令可能
種 別	全対象局一斉、全市町村一斉、全消防一斉、地域/区分指定、個別局指定

<その他端末装置>

全県移動車載型無線装置	260MHz デジタル通信 複信方式
第二全県移動車載型無線装置	150MHz 複信方式 (または半複信方式)
衛星自動車電話	衛星携帯・自動車電話対応
簡易画像伝送装置	50GHz 帯回線構成での画像伝送